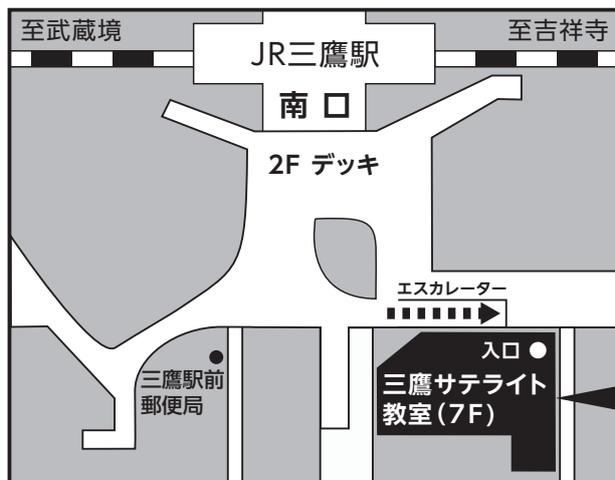


『教行信証』「信巻」を読む ― 信一念釈 ―

| | | | | | |
|---|---|---|----|-------------------------------------|-----|
| 受講料 (振込額) | 12,500円 | | | | |
| 必携テキスト | ―― | | | | |
| 講座概要 | 曜日 | 金曜日 | | 日程 7月14・28日 8月18日 9月15・29日 | |
| | 時間 | 15:00～16:30 | | | |
| | 回数 | 全5回 | 定員 | | 40名 |
| | 開講場所 | 三鷹サテライト教室 7F / 大教室 | | | |
| 講師 | 本学教授 前田 壽雄 (まえだ ひさお) 龍谷大学大学院文学研究科博士課程真宗学専攻単位取得。浄土真宗本願寺派宗学院卒業。 龍谷大学非常勤講師、浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員を経て、現在、本学通信教育部人間科学部教授。 著書に『「ただ念仏」の教え―法然聖人から親鸞聖人へ―』(探究社)、『仏事Q&A 浄土真宗本願寺派』(国書刊行会)、『書いて味わう讃仏偈 重誓偈』(本願寺出版社)他。 | | | | |
| | 内容 | 親鸞聖人の主著であり、浄土真宗の根本聖典である『顕浄土真実教行証文類』（『教行信証』）には、浄土真宗の教義体系が組織的に示されています。 すなわち、浄土真宗を往相と還相の二種回向に分け、往相回向に教・行・信・証の四法があるとされています。 この中の信について顕された「信巻」では、「至心信樂の願 正定聚の機」を標挙に掲げ、真実の信（大信）とは何かを明らかにしています。 親鸞聖人は、「至心信樂の願」（第十八願）に誓われた至心・信樂・欲生の三心とは信樂一心におさまることを説いていますが、さらに今回は、その信樂を別釈して、第十八願成就文によって信樂に一念があることを顕していることを学んでいきます。また、信心の行者である「正定聚」が現生に成立する理由を考えます。 | | | |
| 【参考図書】『浄土真宗聖典―註釈版 第二版―』 / 浄土真宗本願寺派総合研究所 編 / 本願寺出版社 / 2004年 5月 / 5,720円 (税込) 【持ち物】筆記用具、ノート、配布資料 | | | | | |
| | ① 7月14日：信一念釈 ② 7月28日：第十八願成就文の解釈 ③ 8月18日：聞不具足・聞信の意義 ④ 9月15日：現生十種の利益 ⑤ 9月29日：一念転釈 | | | | |



武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。